



令和5年9月1日（金）第15号

『校長室の窓から』

八尾市立龍華中学校発行

今日は「防災の日」 関東大震災から100年



関東大震災とは：「大正12年（1923年）9月1日11時58分に、相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9と推定される関東大地震が発生しました。この地震により、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県で震度6を観測したほか、北海道道南から中国・四国地方にかけての広い範囲で震度5から震度1を観測し、10万棟を超える家屋を倒潰させました。また、発生が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し、大規模な延焼火災に拡大しました。

この地震によって全半潰・消失・流出・埋没の被害を受けた住家は総計37万棟にのぼり、死者・行方不明者は約10万5000人に及ぶなど、甚大な被害をもたらしました。下表のとおり、近年の大震災と比べても、その被害規模と社会経済的なインパクトは極めて大きかったことが分かります。」（以上の「関東大震災とは」解説文ならびに下の表は、内閣府・防災情報のページ「関東大震災100年」特設ページより引用しました。）

	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発生年月日	1923年（大正12年）9月1日 土曜日 午前11時58分	1995年（平成7年）1月17日 火曜日 午前5時46分	2011年（平成23年）3月11日 金曜日 午後2時46分
地震規模	マグニチュード M7.9	マグニチュード M7.3	モーメントマグニチュード Mw9.0
直接死・行方不明	約10万5千人 （うち焼死 約9割）	約5,500人 （うち窒息・圧死 約7割）	約1万8千人 （うち溺死 約9割）
災害関連死	—	約900人	約3,800人
全壊・全焼住家	約29万棟	約11万棟	約12万棟
経済被害	約55億円	約9兆6千億円	約16兆9千億円
当時のGDP	約149億円	約522兆円	約497兆円
GDP比	約37%	約2%	約3%
当時の国家予算	約14億円	約73兆円	約92兆円

出典：諸井・武村（2004）『日本地震工学会論文集』第4巻第4号、東京市役所（1926）『東京震災録：前編』、一橋大学社会科学統計情報研究センター『長期経済統計データベース』、気象庁、警察庁、消防庁、復興庁、国土庁、内閣府、財務省、兵庫県資料をもとに内閣府防災担当作成

総務省消防庁 HP「関東大震災 100 年特設ページ」(<https://www.fdma.go.jp/relocation/shinsai100/index.html>)では、「関東大震災から100年。学ぼう防災。守ろう命。」と大きく表示されたページがあります。「もしも今、大地震が起きたら。あなたは自分の命、家族の命、仲間の命を守れますか？命を守るために、できることは何だろう？」と私たちに問いかけ、防災のための行動等が学べるページになっています。

例えば、「消防庁防災マニュアル（電子版）」については、「地震があつたら一屋内編・学校」とクリックすると、「教室内では、机の下に潜って落下物などから身を守り、慌てて外に飛び出すなど勝手な行動はせずに、教職員の指示に従いましょう。」「●廊下、運動場、体育館などでは、中央部に集まってしゃがみましょ。●実験室などで薬品や火気に注意し、避難しましょう。●通学路が危険なこともあるので、勝手に帰宅しないようにしましょう。」と具体的にどうすればよいか書かれており、いざという時の行動の在り方や心構えについて学ぶことができるのではないのでしょうか。「備えあれば憂いなし。」節目節目のときどきに、普段からの備えについて省みることが必要であるところです。